

特定非営利活動法人 ピアソン会

第74号

2017. 5.31

ピアソン便り

発行人：吉田 邦子（理事長） 編集人：伊藤 悟（理事）

ピアソン会事務局

（事務局長 伊藤 悟）

〒090-0036

北見市幸町7丁目4番28号

Tel: 0157-31-1215

ピアソン記念館内

AM.9:30 ~ PM.4:30

e-mail アドレス

pierson@yacht.ocn.ne.jp

第15回ピアソン会総会（通算19回）

「事業報告・事業計画・役員留任」議決して終了！

5月27日土曜日、2017年度の定期総会がピアソン記念館にて開催されました。

冒頭、吉田理事長より参加された会員への感謝の挨拶がありました。また北見市点訳赤十字奉仕団（代表／高木百合子）によって、ピアソン夫人著「六月の北見路」の点字翻訳本が寄贈されたことの報告がありました。今後、目の不自由な方々へも「六月の北見路」が広く読まれるように、全国へ向けて貸し出しができる体制づくりを整備することが紹介されました。

来賓の北見市教育委員会文化財課太田敏量課長より、北見市指定管理者としてピアソン記念館を運営管理している当会への謝辞が述べられました。

議事の進行には、小川清人運営会員を選出し、最初に2016年度の事業報告、及び決算報告が伊藤事務局長よりありました。また、2014年の百年記念事業のため設立された「特別基金会」に関し、「事業終了後の残金266円の特別基金会計を閉鎖し、次年度一般会計に統合したい」との提案がありました。

永田たか子・森下真裕美両氏の監査結果報告は、森下監事により報告され、全会一致で前年度事業・会計は了承されました。



【写真右】事務局からの説明を聞く総会参加のピアソン会会員。午後4時半から6時までの1時間半を充実した論議を交わして終了した。

第19回グリーンコンサート開催のお知らせ

- ◎開催日時：2017年7月1日(土) 午後1時開演
- ◎開催会場：北見市幸町7丁目 ピアソン記念館 前庭
- ◎演奏団体：①北見中央小学校ブラスバンド部、②北見北中学校吹奏楽部
③北見工業大学・日本赤十字北海道看護大学吹奏楽部
④アイランドバトンチーム「チームエンジェル」
⑤北見吹奏楽団、5団体の出演予定。



北見吹奏楽団（撮影2014年）

※駐車場は当日使用できませんのでご了解下さい。※雨天中止の場合（当日午前10時決定） 問合せ ☎ 31-1215

《支出の部》

科 目	2015年度	2016年度	2016年度	増 減
	決算額	予算額	決算額	
指定管理受託事業	3,697,581	4,301,640	3,945,572	356,068
人件費	2,439,520	2,576,000	2,575,820	180
燃料費	115,492	237,000	128,560	108,440
印刷製本費	174,667	180,000	176,900	3,100
光熱水費	209,775	252,000	220,065	31,935
修繕料	6,900	50,000	0	50,000
通信運搬費	32,773	37,000	32,998	4,002
手数料	39,700	40,000	39,000	1,000
委託料	413,600	543,000	471,000	72,000
諸経費	175,700	68,000	207,689	▲139,689
消費税	89,454	318,640	93,540	225,100
自主事業費	1,263,463	730,000	768,910	▲38,910
企画展事業	0	0	0	0
出版事業	420,120	0	0	0
ふれあい事業	345,656	460,000	512,565	▲52,565
コンサート事業	83,816	100,000	98,264	1,736
展示の充実事業	313,603	100,000	33,820	66,180
その他の事業	100,268	70,000	124,261	▲54,261
ピアノン会事務費	189,536	170,000	151,487	18,513
事務経費	2,729	10,000	3,989	6,011
通信費	93,998	90,000	83,754	6,246
会議費	21,000	30,000	35,084	▲5,084
旅費	0	10,000	0	10,000
雑費	71,809	30,000	28,660	1,340
繰出し金	0	0	0	0
予備費	0	9,023	0	9,023
今年度支出合計	5,150,580	5,210,663	4,865,969	344,694

《収入の部》

科 目	2015年度	2016年度	2016年度	増 減
	決算額	予算額	決算額	
会費収入	270,000	340,000	285,000	▲55,000
運営会員	85,000	100,000	90,000	▲10,000
賛助会員	75,000	90,000	75,000	▲15,000
フレンド会員	0	0	0	0
団体会員	110,000	150,000	120,000	▲30,000
寄付金収入	322,736	300,000	349,837	49,837
個人寄付	110,736	100,000	130,637	30,637
団体寄付	20,000	10,000	15,000	5,000
本の寄付	111,050	110,000	127,400	17,400
CDの寄付	0	0	0	0
絵葉書の寄付	80,950	80,000	76,800	▲3,200
その他	0	0	0	0
助成金収入	350,000	0	0	0
委託料収入	4,116,960	4,301,640	4,301,640	0
指定管理委託料	4,116,960	4,301,640	4,301,640	0
前年度繰越金	6,000	0	0	6,000
雑収入	162	0	6	6
繰越金	353,745	269,023	269,023	0
今年度収入合計	5,419,603	5,210,663	5,205,506	▲5,157

前年度の主な事業報告！

北見市指定管理事業の受託者として、アソソ記念館の運営管理をメインとして実施いたしました。また、ピアノン記念館が単なる記念館にならないための各種事業をピアノン会独自の会計で実施していますので、その事業についても報告されています。

特に前年度は、ホームページをリニューアルし、更新回数を頻繁にできるものにしたこと。記念館の案内も充実したことなどの報告もありました。

今年度収入合計 **5,205,506円** - 今年度支出合計 **4,865,969円** + 特別基金会計 **266円** = 次年度への繰越し **339,803円** (A)

新年度事業の活発な論議！

新年度事業については、事務局より例年の事業の継続事業が提案されましたが、特に一昨年より実施されていた『台所復元のための調査研究作業』・『多目的トイレの設置の研究』・『大型バス乗降場設置に関する調査』では、「北見市教育委員会が具体的に動き始めてきたようです」との報告がありました。

質疑応答では、来賓で出席されていた太田文化財課長への質問等もありましたが、今後の課題として部内で論議されている、と報告されました。

会員からの意見として、『今後、ピアノン会の正式な意思として、北見市へ「要望書」として集約した意見を提出すべきではないか』との提案がありました。

論議の末、総会での意思を北見市へ伝えるために、「理事会で文案をまとめて提出すること」が決定されました。

また、「関係団体との交流」で、今年度「ヴォーリズ建築文化全国ネットワーク会議」の熊本全国大会への欠席について

は、「今後はもっと積極的に参加できるような配慮が必要」との意見もありました。

約1時間半にわたる総会での議論は、会員の温かな思いを感じる貴重な記録として残るものとなりました。総会への参加ありがとうございました。今後ともご支援よろしくお願いいたします。

《支出の部》

科 目	2016年度	2016年度	2017年度
	予算額	決算額	予算額
指定管理受託事業	4,301,640	3,945,572	4,301,640
人件費	2,576,000	2,575,820	2,576,000
燃料費	237,000	128,560	237,000
印刷製本費	180,000	176,900	180,000
光熱水費	252,000	220,065	252,000
修繕料	50,000	0	50,000
通信運搬費	37,000	32,998	37,000
手数料	40,000	39,000	40,000
委託料	543,000	471,000	543,000
諸経費	68,000	207,689	68,000
消費税	318,640	93,540	318,640
自主事業費	730,000	768,910	780,000
企画展事業	0	0	0
出版事業	0	0	0
ふれあい事業	460,000	512,565	450,000
コンサート事業	100,000	98,264	120,000
展示の充実事業	100,000	33,820	110,000
その他の事業	70,000	124,261	100,000
ピアノン会事務費	170,000	151,487	170,000
事務経費	10,000	3,989	10,000
通信費	90,000	83,754	90,000
会議費	30,000	35,084	30,000
旅費	10,000	0	10,000
雑費	30,000	28,660	30,000
繰出し金	0	0	0
予備費	9,023	0	9,803
2015年度支出合計	5,210,663	4,865,969	5,261,443

《収入の部》

科 目	2016年度	2016年度	2017年度
	予算額	決算額	予算額
会費収入	340,000	285,000	340,000
運営会員	100,000	90,000	100,000
賛助会員	90,000	75,000	90,000
フレンド会員	0	0	0
団体会員	150,000	120,000	150,000
寄付金収入	300,000	349,837	280,000
個人寄付	100,000	130,637	100,000
団体寄付	10,000	15,000	10,000
本の寄付	110,000	127,400	100,000
CDの寄付	0	0	0
絵葉書の寄付等	80,000	76,800	70,000
助成金収入	0	0	0
助成金	0	0	0
委託料収入	4,301,640	4,301,640	4,301,640
指定管理委託料	4,301,640	4,301,640	4,301,640
前年度繰越金	6,000	6,000	0
雑収入	6	6	6
繰越金	269,023	269,023	339,803
2015年度収入合計	5,210,663	5,205,506	5,261,443

新年度の事業予算では、受託事業は前年度の予算を踏襲しての規模、自主事業では、「ふれあい事業」の会報発行は年6回の隔月刊発行を継続。ホームページ更新は月1回の更新作業（必要が生じた場合はその都度更新する。）の実施。「展示の充実事業」では、『ヴォーリズ記念室』（前年度はヴォーリズ記念室のリーフレット作成のみ）のリニューアルの実施予算を計上しました。

いずれにしても、自主事業予算は全体的に予算計上しが厳しい状況で、各種の助成金や補助金等の申請を通しての獲得が求められています。

「ニュージージーランドからの便り」第7回

ピアノン会顧問 グラハム・ハード氏

*2017.3.6

秋の気配がしてきました。◆先週ワンガヌイからファンガパラオアへの帰途、天候が上々、タラナキ瀧へ行ってみたくてルアペフ山に寄りました。北島の最高峰で、高い斜面には年中雪があります。ルアペフ山とその近隣のンガウルホエ山、トンガリロ山は古代マオリの人々には聖地で、登ったり近辺を歩いたり、また仰ぎみる事さへ禁じられていました。雄大な景色の中のタラナキ瀧へ歩くことは素晴らしく、出会った多くのハイカーの大方はヨーロッパの旅行者でした。日本人の大勢のグループは高齢者らしく、2時間の歩きは大変でしょうが。

*2017.4.4

最新版ピアノン便りと北見の情報を楽しみに。◆先週水曜日(3/29)にワンガヌイへ来て土曜日(4/8)に戻ります。週末の高校同窓会は好天で、原始林に囲まれた美しい庭園にある懐かしい昔の農場のブッシュパークに宿泊。今年はまだ参加がなく、それが、みんなと話ができる機会ともなり、それぞれが50年前の時のようにリラックスしていました。◆金曜日に従兄のステイブとニュ



ージーランド最大の家畜市場フィールディングへ行きました。千頭以上の牛や2万頭以上の羊が競りに出され、従兄弟たちの家畜には良い値がつけました

*2017.4.13

最新のピアノン便り(73号)、新聞記事などありがとうございます。北への帰途は好天で、ニュージージーランドの富士山タラナキ山は素晴らしい眺望でした。途中ニュープリマスで従姉のマーガレットを訪ねました。

*2017.4.27

美しい秋の日和。紅葉は北海道ほど際立っていませんが、好天がプラムの木に「帰る花」をもたらしました。弟と私はキャベツ、カリフラワー、ブロッコリーの種を蒔きました。ニュージージーランドでは冬野菜です。◆雪の中のヒバリの素晴らしいお知らせと写真をありがとうございます。ピアノン夫人が見間違ったのかと思っていました。◆全くそうではありません

でした！斉数(さいす)さんの優れた鑑識眼と撮影技術、また北海道新聞を介してのおかげです。◆「常用漢字」の辞書と「白川静」、ドイツ人学者の翻訳などの情報ありがとうございます。白川さんの別の書籍が手元にあり、貴重で、気に入って学んでいます。記事でも言及していますが、多くの漢字の起源を宗教的また生贄の意味などに帰する深い洞察となつていま

す。際限のない魅力で、シユミット氏も翻訳に至ったことが理解できます。本場にチャレンジと言え

*2017.5.9

る。◆6月に皆さんにお会いするのが楽しみです。

*2017.5.9

新聞全部を興味ふかく読んでいます。特に、流水、カタクリ、エングサクの写真は嬉しかったです。私の好きな花々の中に入っていて、毎春、目にするのを楽しみにしていました。◆夜は冷え込むようになりましたが、日中は美しい秋の日々です。◆出発の日、5月20日、がどんどん迫ってきます。北見には6月5日頃になり、札幌

へは6月19日頃に戻ります。

*2017.5.15

日に日に冷え込み、昼間が短くなつていきます。昨夜は薪ストーブを燃やし、温もりと炎を楽しみました。◆弟が週末に来ました。ルバーブを持ち帰りましたがまだまだ沢山あります。◆5月20日の出発に向けて最後の準備をしています。

*2017.5.21

昨夜無事千歳空港に到着。暮れなずむ津軽海峡、函館、羊蹄山が機内の窓越しに美しかったです。

*2017.5.24

札幌滞在が楽しいです。北見へのJ.Rが予約できました。ピアノン会の方々にお会いするのは楽しみです。



【写真】雪の上のヒバリ 撮影：斉数正樹氏(71歳) 場所：伊達市乾町の牧草畑 日時：2017.3.31。

補足説明

2017.4.16付北海道新聞読

者の声欄にさえずるヒバリの写真が。「あのヒバリだ!」、10年余り前、ハード氏から「北海道のひばりは雪の中にいるのですか?」と聞かれ、麦畑のヒバリを連想した私は戸惑うのみ。ハード氏はピアノン会の依頼で、宣教師夫妻の直筆を活字化する作業中、4月のヒバリを描写する百年前のピアノン夫人の報告文書3通(1917.5.15、1920.5.10、1925.5)に出会った。野付牛の高台、ピアノン記念館の雪の庭のヒバリたち。雪上の賑やかな囀りを聞いたことがないのは、4月下旬の降雪も珍しくない北見では、寒さのせいで屋内にいる時間が長いからかもしれない。掲載を快諾され、写真をくださった斉数氏に感謝いたします。(吉田)

編集後記

2017年度総会を無事終了することができました。今年度は特に大きな事業は計画されておりませんが、ピアノン邸台所復元に向けての調査研究の継続があります。北見市教育委員会との連携が取れましたら助成金申請などして調査研究の加速化も視野に入れていきます。ピアノン記念館事業継続のための資金獲得が必要とされています。会員の皆様からの知恵を募集いたします。

北見市点訳赤十字奉仕団による点訳本「六月の北見路」の寄贈を受けました。感謝!
(理事兼事務局長) 伊藤 悟